

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター  
平成25年度第5回理事会議事録

1. 開催された日時 平成26年2月25日(火) 10時～11時10分
2. 開催された場所 一宮市三岸節子記念美術館 講義室
3. 理事総数及び定足数  
総数 10名、定足数6名
4. 出席理事数 8名  
(出席) 谷 一夫、豊島 半七、丹羽 良隆、渡部 昭、日比野 友治、大野 紀明、  
早川 隆雄、高岡 幸郎  
(欠席) 堀 元、富田 実夫  
(監事出席) 木村 正人

5. 議 題

決議事項

- 議案第1号 平成25年度補正予算について
- 議案第2号 弥富市の運営からの一時離脱について
- 議案第3号 平成26年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込みについて
- 議案第4号 規程・規則の一部改定について

6. 議事の経過及びその結果

定足数の確認等

事務局より、定足数の充足を確認し本会議の成立を宣した。

定款に基づき谷理事長が議長に、議事録署名を谷理事長、木村監事とし議案の審議に入った。

7. 決議事項

議案第1号 平成25年度補正予算について

事務局から補正予算書案に沿って各科目について説明し、当期経常増減額は当初予算額△6,375千円から補正案は△8,058千円の詳細な説明をした。

同議案に対して、大野理事から「指定正味財産 253,000千円の明細について」の質問があり、事務局より人材育成基金及び建物の大規模修繕に備えた資金であることを説明した。

審議の結果、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

議案第2号 弥富市の運営からの一時離脱についてについて

事務局から弥富市のFDCからの一時離脱の申し出について説明した。

同議案に対して、大野理事から「市町村の離脱を簡単に認めてしまうと西尾張全体の繊維業界が衰退してしまうのか不安である。他の市町村の離脱状況はどうなっているのか」との質問があり、事務局より、他の市町村の離脱状況と蟹江町の復帰事例について述べ、現在は7市町村と回答し、FDCでは、各市町村に対し繊維産業だけでなく地場産業の振興の活動をすすめている旨を伝えた。

審議の結果、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

議案第3号 平成26年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込みについて

① 平成26年度事業計画書について、丹羽専務理事から説明があった。

② 収支予算書について、事務局から説明があった。

平成25年4月1日公益財団法人への移行に伴い、従来予算書から、書類が変わったことを説明。行政への提出書類として業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込みを

記載した書類が必要になった。その内の、収支予算書（正味財産増減計算ベース）は、損益ベースかつ公益、収益、法人の事業部別に区分された収支予算数値が記載された表であり、各事業に共通する経費は適正な基準で配賦された数字であることと、詳細については補足資料を用いて詳細に説明した。

③ 資金調達及び設備投資の見込みについて

いずれも予定がないことを説明した。

同議案に対して、大野理事から「一宮市の負担金がかかなり大きいようだが、各市町村の負担金の金額について報告を」との質問があり、事務局より運営費負担金 60,464 千円の内訳を回答した。審議の結果、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

議案第 4 号 規程・規則の一部改定について

事務局より公益財団法人移行に伴う規程・規則の読み替えと、役員及び評議員の報酬等に関する規程を新旧対照表に基づき説明した。また、消費税 8%への増税に伴う施設使用料変更について詳細に説明を行い、消費税 10%への増税の際にも同様に施設使用料変更を行うと付け加えた。

審議の結果、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

8. その他

事務局より、JY&総合展「THE 尾州」開催結果の報告、また今後の行事予定について案内をした。

豊島副理事長より「JY&総合展「THE 尾州」の来場者の集計は、業種別だけではなく、地域別の集計も参考に知りたい。また、カウントは延べ人数か」と発言があった。

事務局より、来場者の人数カウントについては延べ人数である、地域別の集計については、結果が出来次第改めて報告する旨を回答した。

以上をもって議案の審議等を終了したので、11時10分、議長は閉会を宣し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人は記名押印する。

平成26年 3 月 10 日

理事長

谷 一夫

監 事

木村 正人